

宗教民俗学

【法蔵館文庫】

たかとり まさお

しばた

みのる

むらかみ

のりお

高取正男著、柴田 實・村上紀夫解説

▼文庫判・並製カバー！384頁・定価1,540円

2023年9月刊行



民俗学の見地から日本宗教史へとアプローチし、日本の信仰の淵源をたずねる。著者の真骨頂ともいえるべき民間信仰史に関する論考を精選。

【目次】

I
幻想としての宗教
遁世・漂泊者―本源的二重構造の問題―

II
宗教と社会―信仰の日本の特性―
村を訪れる人と神―日本人の信仰―
山と稲と家の三位一体―日本民族信仰の根幹―
死生の忌みと念仏―専修念仏と民間信仰―
地藏菩薩と民俗信仰
信仰の風土―天川弁才天―

III
奈良仏教の展開
天皇と神の間―古代的政教分離をめぐる―
救世主としての教祖―行基の場合を中心に―
民間仏教を開発した空也
解説(柴田 實)
文庫版解説 「楽園」の光と影(村上紀夫)

◆著者・解説者略歴

高取正男(たかとり まさお)

一九二六年愛知県に生まれる。京都大学文学部史学科卒。京都女子大学教授などを務める。専門は日本文化史・民俗学。一九八一年没。
主な著書に『仏教土着(日本放送出版協会)』、『日本の思考の原型(講談社現代新書)』のち、平凡社ライブラリー、ちくま学芸文庫、『神道の成立(平凡社選書)』のち、平凡社ライブラリー、『民間信仰史の研究』高取正男著作集『全5巻(以上、法蔵館)』などがある。

柴田 實(しばた みのる)

一九〇六年京都府に生まれる。京都帝国大学文学部史学科卒。京都大学教養学部教授、関西大学教授、佛教大学教授などを歴任。一九九七年没。
主な著書に『庄園村落の構造(創元社)』、『石田梅岩(吉川弘文館)』、『中世庶民信仰の研究(角川書店)』、『柴田實著作集 日本庶民信仰史』全3巻(法蔵館)がある。

村上紀夫(むらかみ のりお)

一九七〇年愛媛県生まれ。大谷大学大学院文学研究科博士後期課程中退。博士(文学)(奈良大学)。現在、奈良大学文学部教授。
主な著書に『近世勸進の研究』、『京都地藏盆の歴史』、『近世京都寺社の文化史』(以上、法蔵館)、『まちかどの芸能史(解放出版社)』、『江戸時代の明智光秀』(創元社)、『文献史学と民俗学 地誌・随筆・王権』(風響社)がある。

注文書	書店印
ご担当	様冊
高取正男著・柴田 實、村上紀夫解説	法蔵館
宗教民俗学	定価 一、五四〇円
【法蔵館文庫】	住所
お名前	お電話

ISBN: 978-4-8318-2653-4 C1121

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

民俗・日本史